

野口記念館を建て替えるために

旭化成株式会社から市に

30億円の寄附

老朽化した野口記念館を建て替えるための資金として、旭化成株式会社から、市に30億円の寄附をいただくことになりました。

野口記念館は、同社の創業30周年を記念して、昭和30年に寄贈していたいただいた施設です。

2月10日に行われた記者会見では、同社の山添勝彦^{やまぞのかつひこ}延岡支社長が、「市民の皆さまへの感謝の気持ちを込めて寄附をさせていただきます。新たな施設は市民文化ホールとしての機能に加え、旭化成の歴史や創業者である野口^{のぐちしたがう}遵翁を顕彰する機能を持ち、多くの市民の皆さまに利用していただけるような施設にさせていただくようお願いしています」と述べました。

なお、新たな施設は、今後検討することとなり、同社の創業100周年、延岡市の市制施行90周年を記念する事業として、2022年の完成を目指します。

